

6 小学校 社会

図や写真、グラフ等の資料から社会の事実を理解する問題については、正答率が高くなっている。調査や体験的な活動が取り入れられた学習の内容については、正答率が高くなっている。歴史学習においては、史実の名称は知っていても、その内容や仕組みについての理解を問う問題の正答率はやや低い。

(2) 我が国の工業生産 <問題 小6で出題 問 7(2)(3)>

問7 資料を見て、あとの問題に答えなさい。



(2) 右の自動車工場の配置図で、自動車が生産される順序で正しいものはどれか。

- 1 プレス工場 ようせつ工場 とそう工場
- 2 ようせつ工場 とそう工場 プレス工場
- 3 ようせつ工場 プレス工場 とそう工場
- 4 プレス工場 とそう工場 ようせつ工場



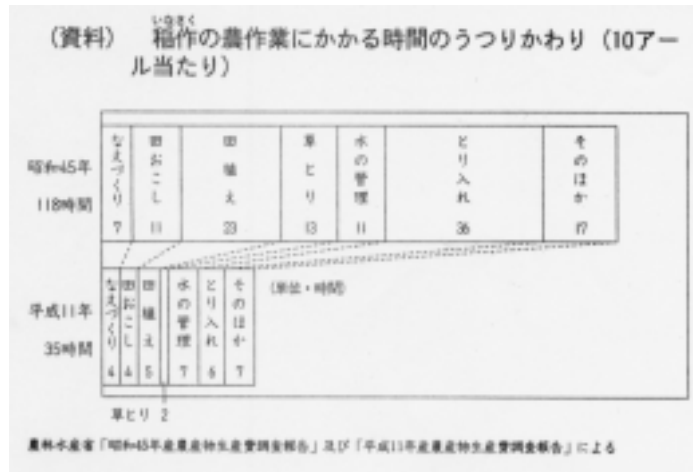
答 1

問2 小問	県 正答率 (%)	国 正答率 (%)
(2)	70.1	62.8

資料をもとに、自動車が生産される順序を答える問題の正答率は高く、基本的な内容を資料から読みとる力は概ね定着している。

(3) 我が国の農業生産 <問題 小6で出題 問 6(1)>

問6 資料を見て、あとの問題に答えなさい。



- 1 水の管理 2 なえづくり 3 田植え
4 五分のー 5 三分のー 6 二分のー

(1) 次の(ア)(イ)にあてはまる言葉を点線の中から選んで記号で書きなさい。

先生：「稲作の農作業にかかる時間は、およそ30年間にどのように変わってきましたか。」

正夫：「昭和45年と平成11年を比べると、農作業にかかる時間がおよそ(ア)になっています。ずいぶん短くなっていますね。」

先生：「作業時間がとても短くなったのは、どのような作業ですか。」

秋子：「作業時間が半分以下になったのは、田おこしをはじめ(イ)草とりなどです。」

答ア：5

答イ：3

問2 小問	県正答率 (%)	国正答率 (%)
(ア)	75.8	76.1
(イ)	77.0	75.2

稲作の農作業について、資料から読みとる問題の正答率が高い。

田植え等の農作業体験を学習に取り入れ、調査・体験的に学習していることが、知識の定着に結びついていると思われる。

(4) 文明開化と近代化 <問題 中1で出題 問 5(4)>

(4) 明治の初めごろ、人々は誰でも名字をなりの、自由に職業や住居などを決めることができるようになりました。この改革を何といいますか。次の中から一つ選んで、記号を書きなさい。

- ア 文明開花 イ 富国強兵 ウ 四民平等 エ 自由民権

答え ウ(四民平等)

問5 小問	県正答率 (%)	国正答率 (%)
(4)	41.3	51.9

誤答 (%)	誤答 (%)
エ(自由民権)	ア(文明開化)
40.6	14.2

明治政府が出した改革の内容について答える問題の正答率がやや低く、明治時代の近代的な政治への動きや社会の仕組み等がとらえきれていない。

誤答のうち、エ(自由民権)と答えた率が多かったのは、問題文中の「自由に職業や住居などを決めることができる」の部分を自由民権と混同したものと考えられる。

歴史学習においても、知識・理解についての学習にとどまらず、史実についての特色や意味について調べながら考え合ったり、話し合ったりして学習を深めていくことで、歴史的な事柄に対する見方・考え方を深めていく必要がある。

7 中学校社会

(1) 全体的な傾向

地理的分野では、資料と資料を関連づけて事実をつかむ問題の正答率が高い。資料を読み取る力についてはついてきている。

歴史的分野では、時代の移り変わりをつかむ問題の正答率が下がっている。

(2) 世界の国々

<問題 中3で出題 問 1 (1)>

問 1

優太さんは、サウジアラビアについて調べています。

(1) 優太さんが、右の資料1から読み取ったことや予想したことを述べた文として最も適切なものを、下の1～4の中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 サウジアラビアの小麦の輸出量は、増加し続けている。
- 2 小麦の生産量と輸入量の合計は、サウジアラビアの方が日本よりも常に多い。
- 3 小麦の輸入量は、サウジアラビアの方が日本よりも常に少ない。
- 4 小麦の消費量は、サウジアラビアの方が日本よりも多いと予想される。

正答 3

資料1

サウジアラビアにおける小麦の生産量、輸出量、輸入量

(単位:万t)

	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年
小麦の生産量	14	214	372	165	180
小麦の輸出量	0	3	127	60	0
小麦の輸入量	17	7	13	0.1	2

日本における小麦の生産量、輸出量、輸入量

(単位:万t)

	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年
小麦の生産量	58	87	95	44	69
小麦の輸出量	0	0	0	0	0
小麦の輸入量	568	551	547	597	585

(『世界国勢図絵 2002/2003年版』により作成)

	県正答率 (%)	国正答率 (%)
問 1 (1)	84.3	79.4

2つの資料を関連させながら、資料の示す地域的な特色を読み取る問題では、正答率が高く、資料の基本的な見方が定着している。

(3) 自由民権運動と国会開設

<問題 中3で出題 問 5 (4)>

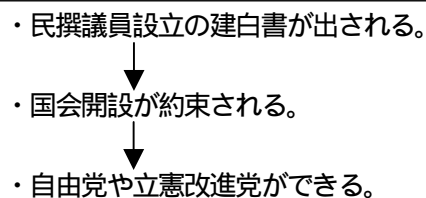
□ に囲まれた部分は、この時期の政治の動きに関連したできごとを示しています。二重線の中のできごとの後に起こったこととして誤っているものを、次の1～4の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- 1 第1回の衆議院議員選挙が始まる。
- 2 伊藤博文が初代内閣総理大臣となる。
- 3 土族の反乱が多発する。
- 4 大日本帝国憲法ができる。

正答 3

(年表の一部)

1873年 地租改正が始まる。



1894年 日清戦争が始まる。

1914年 第一次世界大戦が始まる。

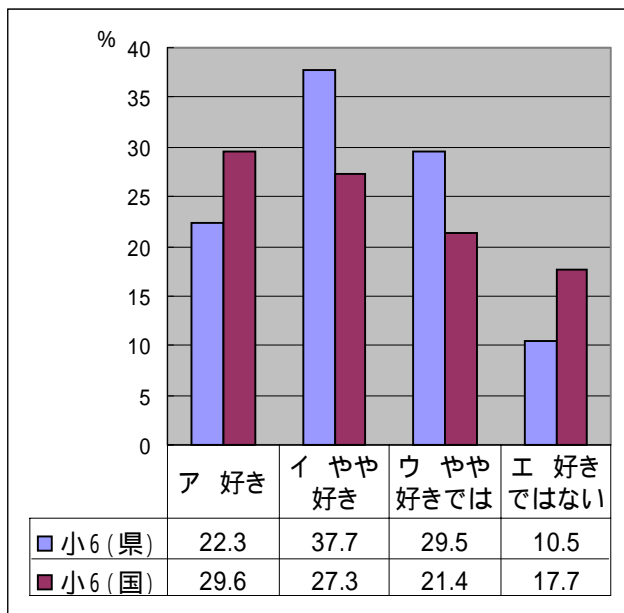
問5 小問	県正答率 (%)	国正答率 (%)
(4)	42.0	60.0

近代の歴史的な事柄を関連づけて考える問題での正答率が低い。

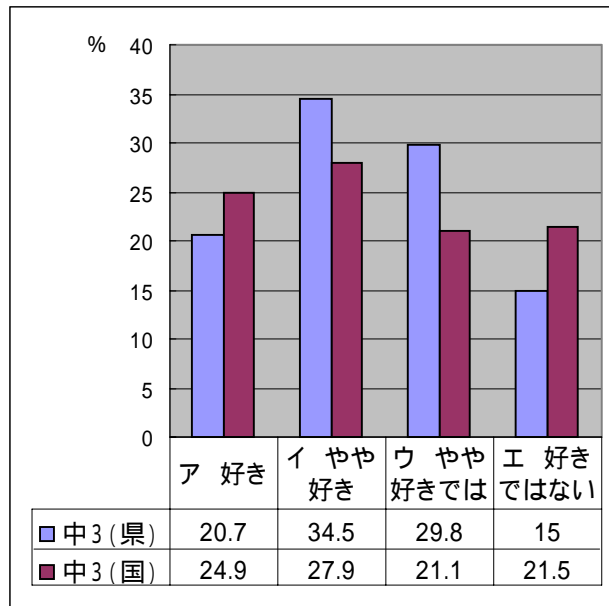
自由民権運動の広まり、政党の結成等にかかわる事柄を、国会開設に対する国民の願いや議会政治が始まる意義等について考えさせながら扱うことで、大きな時代の移り変わりを理解させることが大切である。

(4) 学習意識調査結果

<質問事項 社会科の学習が好きですか 小6>



<質問事項 社会科の学習が好きですか 中3>



「社会科の学習が好きですか」という質問に対し、小6と中3のいずれにおいても、好きではないと回答した児童生徒が、国の調査と比べて少ない。児童生徒の主体性を大切に学習がなされていると考えられる。

好きと回答している児童生徒が、国の調査よりやや少ない傾向があることについては、身近な日常的な事象から社会的な関心を目覚めさせる関わりを一層重視していく必要がある。